

# 高砂地区開発協議会ニュース

第12号 平成29年7月

発行元：高砂地区開発協議会  
会長 本田 幸一  
協力：葛飾区 都市整備部  
電話：5654-8344

## 鉄道立体化に向けて 駅周辺まちづくりを推進します！



駅至近の高砂1号踏切

鉄道立体化の実現には、鉄道立体化の事業効果を最大限にする総合的なまちづくりが求められます。これまで、駅周辺のまちづくりについては、駅周辺地区まちづくり勉強会において「駅周辺地区のまちの将来像」(H26) をとりまとめ、大枠の方向性を示していました。

ここからさらに、鉄道立体化にあわせた駅周辺の都市基盤整備（道路、駅前広場など）に向けて、事業を視野に入れた具体的なまちづくりの検討を進めるため、駅周辺地区まちづくり勉強会の活動を再開します。

### ★駅周辺地区まちづくり勉強会の委員を公募します★

高砂地区開発協議会加盟団体（町会、商店会）の推薦委員以外に、勉強会に参加いただける方を募集します。

◆対象者◆ 高砂2・3・5丁目にお住まいの方

◆募集人数◆ 6人

◆応募方法◆ 7月21日（金）までに電話またはFAXで連絡し、住所・氏名・電話番号をお伝えください。応募者多数の場合は抽選となります。

#### 応募・問い合わせ先

6ページ下段の応募・問い合わせ先までご連絡ください。



※勉強会の開催は、平日夜間（19時～20時30分）に、会場は高砂南町会会館を予定しています。  
※今年度の勉強会は2回（11月頃、年明け）開催する予定です。

# 高砂地区開発協議会の平成28年度の活動

## 創出用地地区まちづくり勉強会

- 高砂4丁目の都営住宅の建替えにより生まれた用地（創出用地）について、必要な機能や施設、その理由などを意見交換しました。
- 出された意見を機能別に分類し、中間まとめ案として整理しました。

### ◆第1回勉強会◆

第1回勉強会では、創出用地の活用事例紹介として、都内で昭和30年代に整備された集合住宅（都営住宅、東京都住宅供給公社住宅、UR都市機構など）の建替え等がどのように実施されているのか、一般の賃貸住宅以外にはどのような施設が整備されているのかなど、コンサルタントから説明を受けました。



第1回勉強会の様子

### ◆第2回・第3回勉強会◆

第2回・第3回勉強会では、他の地区における創出用地の事例について改めて説明がありました。その後、10月に実施した事例視察も参考にしながら創出用地に必要な機能とその理由について、2つの班に分かれて話し合いを行いました。話し合った結果はそれぞれの班の代表が発表し、出席者で内容を確認しました。



第2回勉強会で意見交換している様子

### 《必要な機能・施設やその理由など（抜粋）》

- ・ 一度に用が済む施設が良い。スーパーやクリニック、飲食店、スポーツジムなどが入っているショッピングモールがあると便利。【商業】
- ・ 人が来たときや、子ども連れなどで行きやすい飲食店が少ない。【商業】
- ・ 現在団地にある郵便局がなくなると、駅北口か鎌倉まで行かねばならずとても不便になるため、この地区に必要である。【サービス】
- ・ 世代間交流の接点となる機能があると良い。【交流】
- ・ 高砂地域には小児科が少ない。【医療】
- ・ マンションができれば若い世代を呼び込め、まちが活性化する。【居住】
- ・ 若い世代に住んでもらいたいのであれば、保育所は必須である。【子育て】



## ◆◆創出用地まちづくり構想【中間まとめ案】◆◆



高砂地区開発協議会では、平成14年から、高砂駅周辺の「開かずの踏切」解消に向けて、鉄道立体化の推進と鉄道立体化の事業効果を高めるための総合的なまちづくりに取り組んでいます。

現在の京成線沿線を見ると、曳舟駅周辺では高架化工事が完了し、四ツ木～青砥駅間についても平成27年度から工事が開始されているという状況です。高砂についてもまちづくりの熟度を上げ、鉄道立体化の事業決定を目指していきたいと考えております。

駅周辺のまちづくりについては、平成23～26年度に駅周辺まちづくり勉強会を設置して検討を行い、「駅周辺地区のまちの将来像」をとりまとめた経緯があります。そこで、鉄道立体化を見えた駅周辺のまちづくりをさらに進めていくため、今年度から駅周辺地区まちづくり勉強会を再開し、これまでの検討成果などを生かしながら、より現実に即した具体的な検討に取り組みたいです。

今後も、一日も早い京成本線の鉄道立体化を目指して取り組みを続けてまいりますので、地域の皆様の一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

高砂地区開発協議会会長 本田 幸一

# 事例視察による学習(開発協議会・まちづくり勉強会合同開催)

## 《第1回事例視察》

視察先：花畑地区（足立区）

東武伊勢崎線竹ノ塚駅周辺（足立区）

昨年10月の第1回事例視察では、大規模団地の建替えに伴い創出された用地の活用事例として足立区の花畑地区と、鉄道の立体化が進められている同じ足立区の竹ノ塚駅に行きました。

花畑地区では、大規模な創出用地に大学を誘致したり、地域の核となる商業施設などが整備されている状況を計画に携わった方々から説明を受けた後、現地を視察しました。

竹ノ塚駅では、工事の進め方を確認し、一部完成した高架線と現在の踏切の状況などを視察しました。



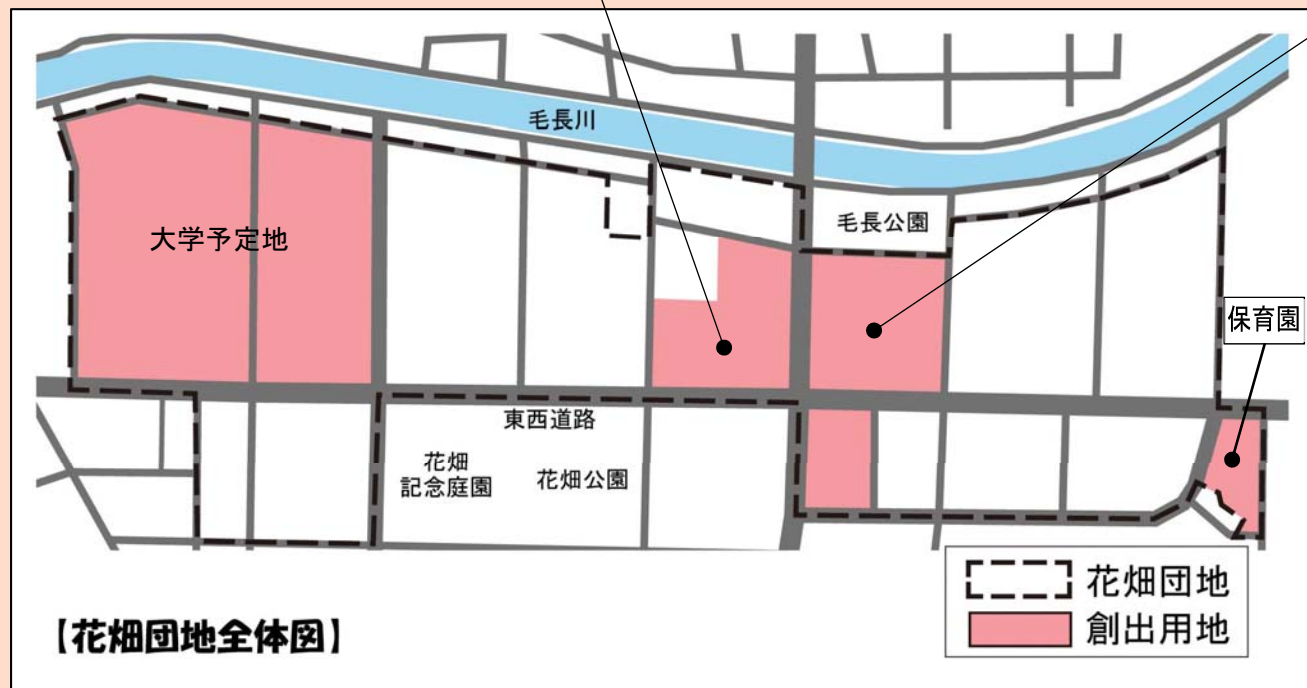
【東武伊勢崎線竹ノ塚駅】インフォメーションセンターで工事の進め方や状況を確認しました。



【花畑地区】併設されているリハビリテーション病院とサービス付高齢者向け住宅を見学しました。



【花畑地区】団地中央に設けられた商業施設にはスポーツジムやクリニックが併設されています。



## 《第2回事例視察》

視察先：十条駅周辺地区（北区）

千歳烏山地区（世田谷区）

今年3月に実施された第2回事例視察では、鉄道の立体化の都市計画手続きが進められている北区の十条駅周辺地区と、大規模団地の建替えに伴い創出された用地の活用事例として世田谷区の千歳烏山地区に行きました。

十条駅では、西口の駅前広場や市街地再開発事業の予定区域を視察しました。平日の昼間にも関わらず多くの住民が踏切を待っている状況や踏切待ちで道路が混雑している様子など、高砂と共通する光景が見られました。また、鉄道立体化を実現するために、駅周辺のまちづくりや広場などの基盤整備も重要であることがわかりました。

千歳烏山地区では、創出用地に整備されたサービス付高齢者向け賃貸住宅と高齢者居宅生活支援施設、保育園やクリニック、コミュニティカフェを視察しました。



【千歳烏山地区】高齢者向け賃貸住宅と高齢者居宅生活支援施設が併設されています。



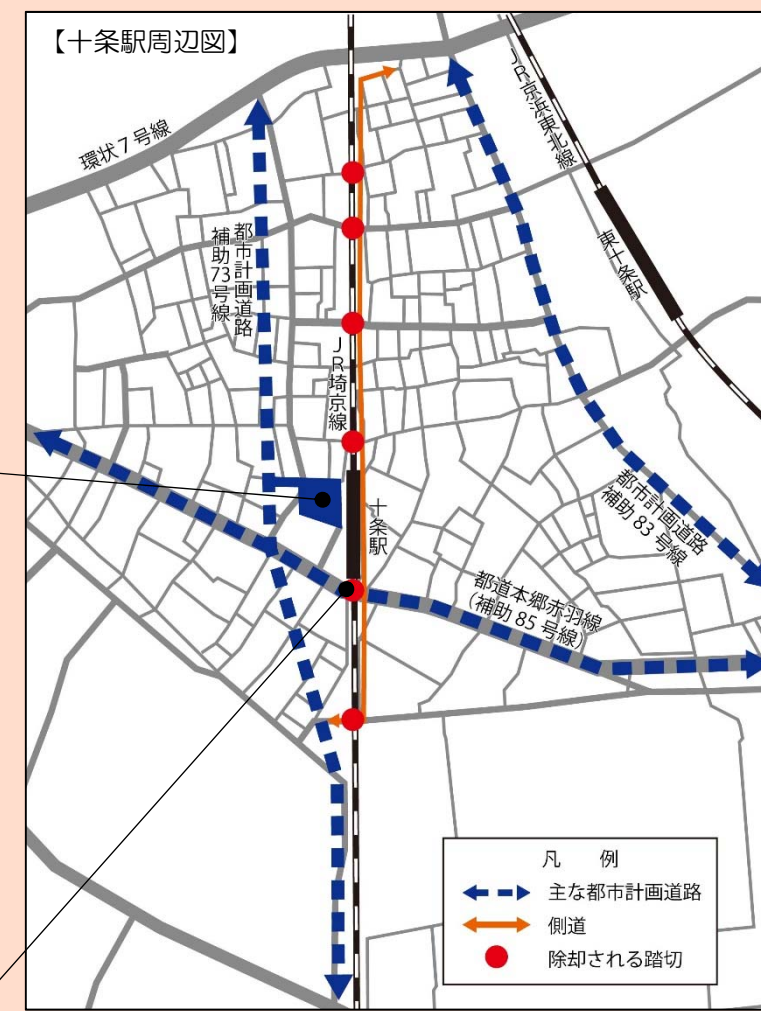
【千歳烏山地区】地区中央に設けられている保育園とクリニック、カフェの建物。



【十条駅西口駅前広場】現在の広場やアクセス道路が狭いため、路線バスは乗り入れできません。



【JR埼京線十条駅】平日昼間にも関わらず多くの利用者が踏切を待っていました。



# 高砂音楽祭 ～まちづくりの普及・啓発活動～



今年もたくさんの方にお越しいただきました！



青木区長にまちづくりの取り組み状況を説明

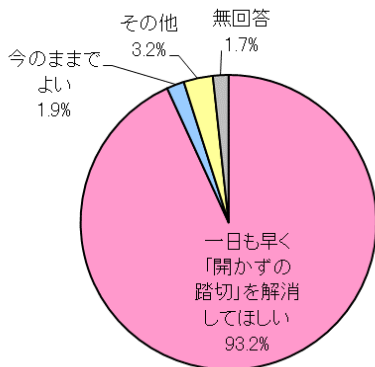
高砂地区開発協議会は、平成 28 年 10 月 26 日(日)の高砂音楽祭に参加し、まちづくりの普及・啓発活動として、まちづくりアンケート調査とパネル展示を行いました。

アンケートでは、500 人の方から、開かずの踏切やまちづくりに関する様々なご意見をうかがうことができました。中でも、開かずの踏切の早期解消を願う意見が昨年度に続き 9 割を超えて

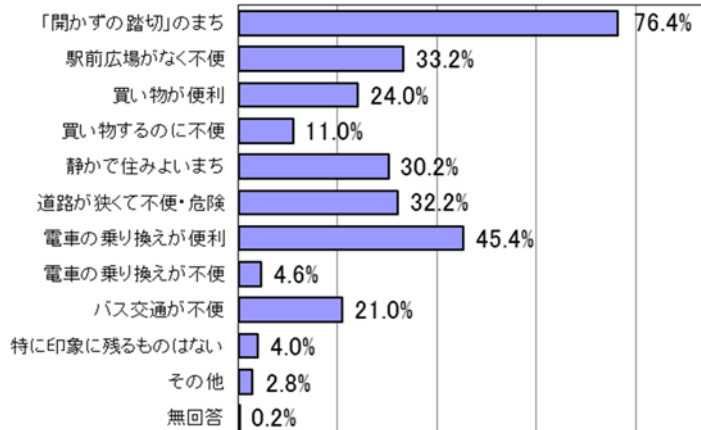
おり、高砂のまちづくりには開かずの踏切解消が欠かせないことが改めてわかりました。



Q 「開かずの踏切」をどう思いますか？



Q 高砂駅周辺についてどんな印象がありますか？



## ★高砂地区開発協議会とは？

高砂地区開発協議会は、地元 5 町会・4 商店会で平成 14 年に発足した団体で、高砂駅付近の“開かずの踏切”解消に向けてさまざまな取り組みをしています。

### 1. 京成高砂駅～江戸川駅間の鉄道立体化実現のための活動

国、東京都、葛飾区、京成電鉄(株)へのはたらきかけ（請願書、要望書、署名等の提出）

### 2. 高砂駅周辺(高砂 2 丁目～5 丁目)のまちづくりに関する活動

- まちの現況把握（まち歩き、まちの問題点・課題点の整理、アンケート調査など）
- まちづくりの事例視察・高砂のまちづくりの検討・まちづくり基本構想の策定

### 3. 鉄道立体化及び高砂まちづくりに関するPR

「高砂地区開発協議会ニュース」の発行、まちづくり報告会の開催など

## 駅周辺地区まちづくり勉強会の委員応募・問い合わせ先

葛飾区役所 高砂地域整備担当（担当：石田・船曳）

電話：5654-8344（直通） FAX：3697-1660